



1300人が集まった26回目の幌延デー=11月23日、幌延町

11月23日幌延デー  
福島原発事故後、はじめての幌延デーが11月23日、幌延町・産業共進会場で開かれ、道北平和運動フォーラムを中心に行なわれた。約1300人が参加した。

道北平和運動フォーラムの山田代表は、「幌延デーは26回目を迎えた。福島原発事故の今後によつては、放射性廃棄物の処理や貯蔵が、受け入れに

むけて加速するような状況が想定される」と懸念を表明した。さらに、「幌延に放射性廃棄物や放射性物質を持ち込ませず使

用させないたかいは、旭川大学学長があいさつ

正念場。幌延と全国のたかが、常に連動していることを再確認し、脱原発の取り組み前進にむけ、決意を固め合おう」と力強く訴えた。

集会では、住民団体な

ど6人の決意表明のあと、来賓の山内亮史・

## 「核のゴミ」道内処分許さない

11月23日幌延デー

△民主的道政の推進  
公契約基本条例は、早く進めなければならぬ課題。官製ワーキング

性化し、税収増にもつながると指摘。道も研究をすすめていくと回答。

△北海道農業の確立  
TPP問題で例外が認められない場合、北海道

の山田代表は、「幌延デーは26回目を迎えた。福

島原発事故後、はじめての幌延デーが11月23日、幌延町・産業共進会場で開かれ、道北平和運動

フォーラムを中心に行なわれた。約1300人が参加した。

道北平和運動フォーラム

の山田代表は、「幌延デー

は26回目を迎えた。福

島原発事故の今後によつては、放射性廃棄物の処

理や貯蔵が、受け入れに

むけて加速するような状

況が想定される」と懸念を表明した。さらに、「幌

延に放射性廃棄物や放射

性物質を持ち込ませず使

用させないたかいは、旭

川大学学長があいさつ

正念場。幌延と全国のた

かが、常に連動してい

ることを再確認し、脱

原発の取り組み前進にむ

け、決意を固め合おう」と力強く訴えた。

集会では、住民団体な

ど6人の決意表明のあと、来賓の山内亮史・

旭川大学学長があいさつ

正念場。幌延と全国のた

かが、常に連動してい

ることを再確認し、脱



あいさつする竹鼻委員長

**[十勝地本発]**全道労連十勝総支部は11月2日、賃金確定闘争勝利・現業統一闘争勝利総決起集会を開き75人が参加しました。13年間におよぶ大幅な独自削減が行われてきたことを踏まえ、竹鼻委員長は、「独自削減は、来年3月に絶対に終らさせなければならない」と方針評議会・若宮総支部書を採択し、現



## あきらめず組織の総力あげる

記次長が「私たち現業職員の思いは、高橋知事の『道厅版小泉改革』で踏みにじられた。多くの合理化で現業職員は10人になった。攻撃に屈することなく、より良い行政サービスのための職場体制確立を訴え続けていく」と決意を述べました。参加者は、引きつづく十勝地本総決起集会にも参加しました。

【十勝地本発】全道労連十勝総支部は11月2日、委員会勧告は、国家公務員の「人勧」を踏襲してやりきりう」とあり、さつしました。最後に、要求の実現に総力をあげる「決議」を探択し、新たな独自削減は、来年3月に絶対に終らさせなければならぬ」と方針評議会・若宮総支部書を採択し、現



地方本部総決起集会の前段に開いた、総支部独自の集会

## シリーズ 子ども・子育て新システム VOL.19

### 国最低基準あっての地域主権では?

かなり以前から議論されてきたことはあります。ですが、保育所の面積基準などの最低基準を国が定めて反対しており、再開された「子ども・子育て新システム」のワーキングチームにおいても同様の議論が行われたようです。住民に最も近い行政機関である地方自治体が地域事情を考慮してさまざまな条例を定めるという

地域主権の考え方は正しいと思いますが、こと社会保障や教育の分野にお



208人の青年女性が集り、学習して行動した



午後からの幌延デー集会後、町内をデモ行進した

11月23日午後からの幌延デーを前に、道平友実行委員会が主催する「11・23幌延デー全道青年女性学習会・総行動」が天塙町で開かれ、3産別1団体208人（うち女性30人、自治労175人）が参加した。

引地実行委員が幌延の歴史・現状と日本の原子力政策」と題して講演した。これまで地元住民を無視し、「幌延ありき」で強行的に深地層への埋め立て計画をすすめてきたことを指摘し、「無関心になることが一番危険」に訴えた。

講演後は、幌延町で「さようなら原発100万人署名」を戸別訪問で取り組み、短時間に62筆の署名を集めた。参加者は、「原発関係者が知り合いにいても署名してくれてうれしかった」「交付金の恩恵などから厳しい意見もあった」と話した。

## 『無感心』が一番危険 11・23幌延デー青年女性学習会・総行動

牧野実行委員長は、「福島の事故が起きて、原発の利権や交付金の恩恵で原発をなくしたくない人も多くいる。今日学んだことをしつかりと受け止め、職場・地域から運

動を広めよう」と呼びかけた。

「幌延」のこれまでと今後を誘致して26年が経過した。当初の貯蔵工学センター計画は地元住民・道民の反対で実施されなかつた。2003年7月、深地層研究所建設開始。2008年7月には原子

幌延町が核廃棄物施設を着手。原環セントラルと約束した三者協定の当事者ではない。今後、最終処分場へのなし崩し的な建設を資源エネルギー庁が目論むことが危惧される。

幌延のこれまでと今後を説いてきた。最初の貯蔵工学センター計画は地元住民・道民の反対で実施されなかつた。2003年7月、深地層研究所建設開始。2008年7月には原子



中央で講演しているのが西村局長

### 障害当事者の声と行動で「差別の禁止」を法律に



会は、11月12日、自治労会館で第21回障労連総会



障労連は、多くの仲間の結集をめざしている

稻田代表は公務員制度改革関連4法案についてふれ、「要求・交渉・妥結・協約締結のサイクルを確立することが必要」と改めて強調。「16日に予定している対道交渉の結果を皆さんにお知らせする。今後の運動にも活かしてほしい」とあいさつした。

記念講演は、「障害者制度改変について」のテーマで、本年度から自治労本部総合政治政策局社会担当できる法律にすることが必要だと話した。

西村局長は、「障害当事者の声と行動による制度の現状と今後の方向性について講演した。

福祉局長に就任した西村正樹さん（全道労連出身）が、障害者制度改変の現状と今後の方向性について講演した。

## あいくみの国会だより 相原久美子 (13)



震災復興に代表される日本の復興が政局に左右されることにじくじくした思いがあります。

今後は、公務員にとって、労働者の権利としての協約締結権確保の、

被災地も含めて、大震災の影響を受けている国民が待ち望んでいる「三次補正予算」が可決しました。

自治労協力国会議員団は、先の政

権で閣議決定した「地方公務員には波及させない」ことを意思統一して

行動します。（11月24日東京にて）

自治労協力国会議員団は、先の政

権で閣議決定した「給与特例措置法案」

と共同で、「地層処分実規模設備整備事業」に

「幌延」のこれまでと今後を説いてきた。最初の貯蔵工学センター計画は地元住民・道民の反対で実施されなかつた。2003年7月、深地層研究所建設開始。2008年7月には原子

幌延町が核廃棄物施設を着手。原環セントラルと約束した三者協定の当事者ではない。今後、最終処分場へのなし崩し的な建設を資源エネルギー庁が目論むことが危惧される。

幌延のこれまでと今後を説いてきた。最初の貯蔵工学センター計画は地元住民・道民の反対で実施されなかつた。2003年7月、深地層研究所建設開始。2008年7月には原子

幌延町が核廃棄物施設を着手。原環セントラルと約束した三者協定の当事者ではない。今後、最終処分場へのなし崩し的な建設を資源エネルギー庁が目論むことが危惧される。